

# ダイハツの再生に向けた体制の見直しについて

ニュースリリース, 経営, 組織・人事

トヨタ自動車株式会社  
ダイハツ工業株式会社

トヨタ自動車(株)（以下、トヨタ）とダイハツ工業(株)（以下、ダイハツ）は、今後ダイハツが「軽自動車を中心に据えたモビリティカンパニー」として再生を目指す中で、5月1日付で海外事業における両社の体制を見直すことにしました。ダイハツにおける認証不正の再発防止の徹底とともにダイハツのリソース、実態に合わせた推進体制とし、ダイハツの強みを生かした「もっといいクルマづくり」「モビリティ社会の実現」を目指してまいります。

具体的には、両社にまたがる新興国小型車カンパニーを廃止し、海外事業においては、トヨタが開発から認証までの責任を持ちます。その上で、ダイハツがその委託を受け、実際の開発を担う委託形態へ、今後の切り替えモデルから順次変更していきます。

## 変更の概要

- 製品企画機能は、トヨタ・ダイハツにまたがる「新興国小型車カンパニー」からトヨタの「Toyota Compact Car Company」へ変更。Toyota Compact Car Companyからダイハツへの委託とすることで、トヨタが開発から認証までの責任を持つ体制に変更
- トヨタブランドの事業・商品企画機能をトヨタの事業・販売ビジネスユニットへ移管
- リソース管理・適正化など上記以外の委託に関わる部分もトヨタへのレポートラインに変更し、トヨタと連携を強化

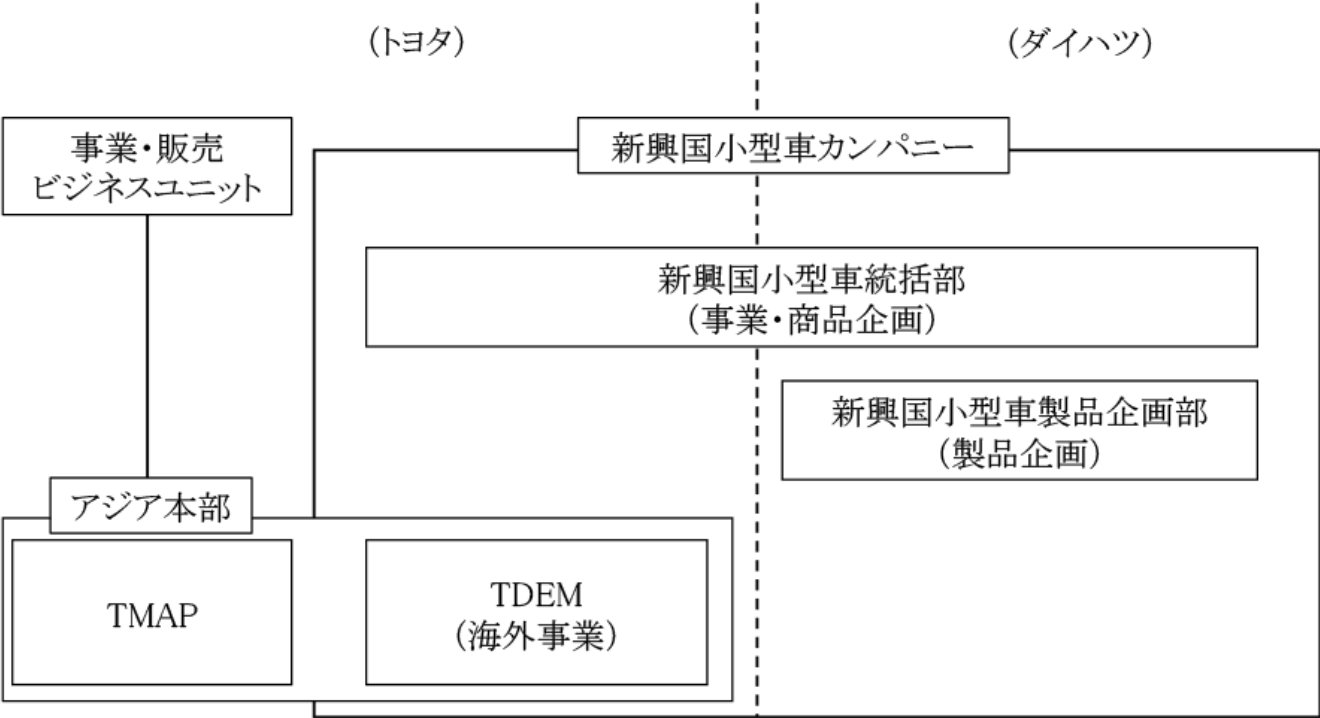
なお、トヨタ ダイハツ エンジニアリング アンド マニュファクチャリング(株)（以下 TDEM）とトヨタ モーター アジア パシフィック(株)（TMAP）は、アジア地域本社として社名を「トヨタ モーター アジア（以下 TMA）」に変更、トヨタのアジア本部に属します。今回の体制変更に基づき、アジアの地域で2社がより自立、協調した組織を目指してまいります。

※6月予定

## 組織改正

◆（廃止）←新興国小型車カンパニー

◆ 組織と担当業務（改正前）



◆ 組織と担当業務（改正後）

